

2026年6月

公益社団法人 日本整形外科学会
専門医・専攻医管理委員会

整形外科専門研修プログラム 制度概要・FAQ



公益社団法人

日本整形外科学会

目次

- 整形外科専門医の理念と使命 P.3
- 整形外科専門医への道のり P.4
- プログラム制・カリキュラム制の違い P.5
- 共通の研修修了要件 P.6
- 研修単位制度について P.7
- 研修環境について P.8
- ダブルボードカリキュラム制について P.9
- 臨床研究医コースについて P.10
- よくある質問(FAQ) 制度について P.11
- よくある質問(FAQ) 研修内容について①② P.12

整形外科専門医の理念と使命

整形外科領域専門制度の理念

整形外科専門医は、国民の皆様に質の高い運動器医療を提供することが求められる。このため整形外科専門医制度は、日本整形外科学会に所属する専攻医に対して医師として必要な臨床能力および運動器疾患全般に関する基本的・応用的・実践能力を教育し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献できるようにすることを理念とする。



整形外科領域専門医の使命

- ・整形外科専門医は、あらゆる運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、さらに、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師でなければならない。
- ・整形外科専門医は、生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する運動器疾患と障害の発生予防と診療に関する能力を備え、社会が求める最新の医療を提供し、地域住民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献する使命がある。
- ・整形外科専門医は、運動器疾患全般に関して、早期診断、保存的および手術的治療ならびにリハビリテーション治療などを実行できる能力を備え、運動器疾患に関する良質かつ安全で心のこもった医療を提供する使命がある。

出典：日本整形外科学会 整形外科専門研修プログラム整備基準

整形外科専門医への道のり



1

1. 専攻医登録

日本専門医機構システムにて**専攻医登録**（例年秋頃）。

プログラム制・カリキュラム制どちらの場合も、
日本専門医機構での専攻医登録は**必須**です。
学会認定専門医制度は令和2年度をもって終了しました。

2

2. 研修プログラム応募・採用

希望する専門研修プログラムに応募・採用される。研修開始までに**日整会正会員**となる。

プログラム制での研修を基本としています

3

3. 専門研修開始

3年9か月の専門研修（プログラム制）をスタート。

4

4. 研修修了認定

プログラムが定める要件を満たし、修了認定を受ける。

研修プログラムを修了した段階で、
整形外科専門医試験を受験することができます。

5

5. 専門医試験

日本整形外科学会整形外科専門医試験を受験（例年2月頃）。

6

6. 専門医認定

専門医試験合格後、日本専門医機構での二次審査を経て専門医となる。

整形外科専門研修コース概要

	標準コース	ダブルボードカリキュラム	臨床研究医コース 
対象	整形外科専門医資格取得を目指す者	救急科またはリハビリテーション科の日本専門医機構認定専門医資格取得者	専門研修と大学院での研究を並行し、専門医資格と学位の同時取得を目指す者
研修制度	①プログラム制 ②カリキュラム制	カリキュラム制	カリキュラム制
研修期間	①最短3年9か月（45単位） ②最短4年	最短3年（36単位）	最短5～7年
特徴	①スケジュールに沿って体系的に研修。 ②柔軟性が高い（ライフイベント等に対応）。 ただし、書類審査があり研修期間に差もある。	過去の大学病院勤務歴・地域医療研修歴を整形外科研修に充当できる。 （充当できるのはダブルボードのみ）	専門医資格取得と学位の同時取得を目指すことができる。

いずれも、[日本専門医機構での専攻医登録](#)が必須です。

標準コースのプログラム制・カリキュラム制について



プログラム制 (The Structured Path)

-  概要：プログラムが定めたスケジュールに沿って研修を進める標準的なパス。
-  研修期間：最短3年9ヶ月（45単位）
-  勤務形態：原則として常勤（週4日以上）
-  記録方法：専用システム（JOINTS）によるデジタル管理
-  最適な対象者：標準的なキャリアパスを歩む専攻医



カリキュラム制 (The Flexible Path)

-  概要：自身で研修先を調整し、柔軟なスケジュールを組めるパス。
-  研修期間：最短4年（48単位）
-  勤務形態：非常勤も可能（例：週8時間から単位換算）
-  記録方法：書類によるアナログ管理（書類審査あり）
-  最適な対象者：育児・介護、義務年限、大学院との両立など、特別な事情がある専攻医

研修休止について

妊娠・出産、傷病、留学等の理由で、**最長6か月（6単位分）**まで研修休止可能。6か月以内であれば**スケジュールに変動なく専門医資格取得を目指すことができる。**

研修休止について

「6か月の休止期間」という設定はない。**中断した分だけ研修修了時期も後ろ倒しになる。**必要総単位数も変わらない。

ダブルボードカリキュラム制について

救急

リハ

対象者

リハビリテーション科または救急科の日本専門医機構認定専門医資格取得済みの医師。

研修期間

最短3年（36単位）

特徴

シーリングの対象外。

過去の大学病院勤務歴（6か月以上）や地域医療研修歴（3か月以上）を整形外科研修に充当可能。ただし、過去の経験を充当しても、整形外科専門研修の総期間（3年）は短縮されない。

参考資料

日整会ホームページに、ダブルボードカリキュラム制整備基準を掲載しています。詳細は、そちらをご確認ください。

ホームページのこちらからご確認いただけます。

整形外科専門研修

- [整形外科専門研修プログラム整備基準](#) 
- [整形外科専門研修プログラム整備基準 運用細則](#) 
- [付属資料](#)
- [研修プログラム FAQ](#) 
- [整形外科専門研修カリキュラム制整備基準（2026年3月19日一部改定）](#) 
- [ダブルボードカリキュラム制研修整備基準 リハビリテーション科専門医向け](#) 
- [ダブルボードカリキュラム制研修整備基準 救急科専門医向け](#) 

臨床研究医コースについて



- 目的

専門研修と大学院での研究を並行し、専門医資格と学位の同時取得を目指す。

- 研修制度 カリキュラム制

- 研修期間 最短5～7年

- 特徴

シーリングの対象外。

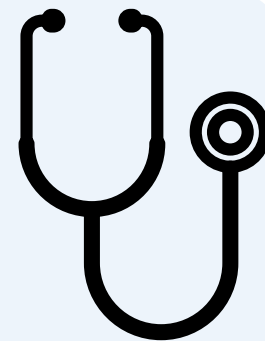
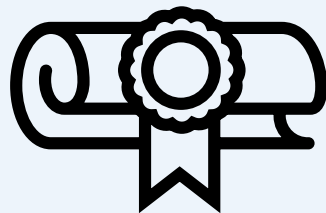
研究へのエフォートは、4年間の平均で50%以上。

修了要件として、SCI掲載論文2本以上（うち1本は症例報告などで代替可）が必要。

- 参考資料

[臨床研究医コースパンフレット（日本専門医機構）](#)

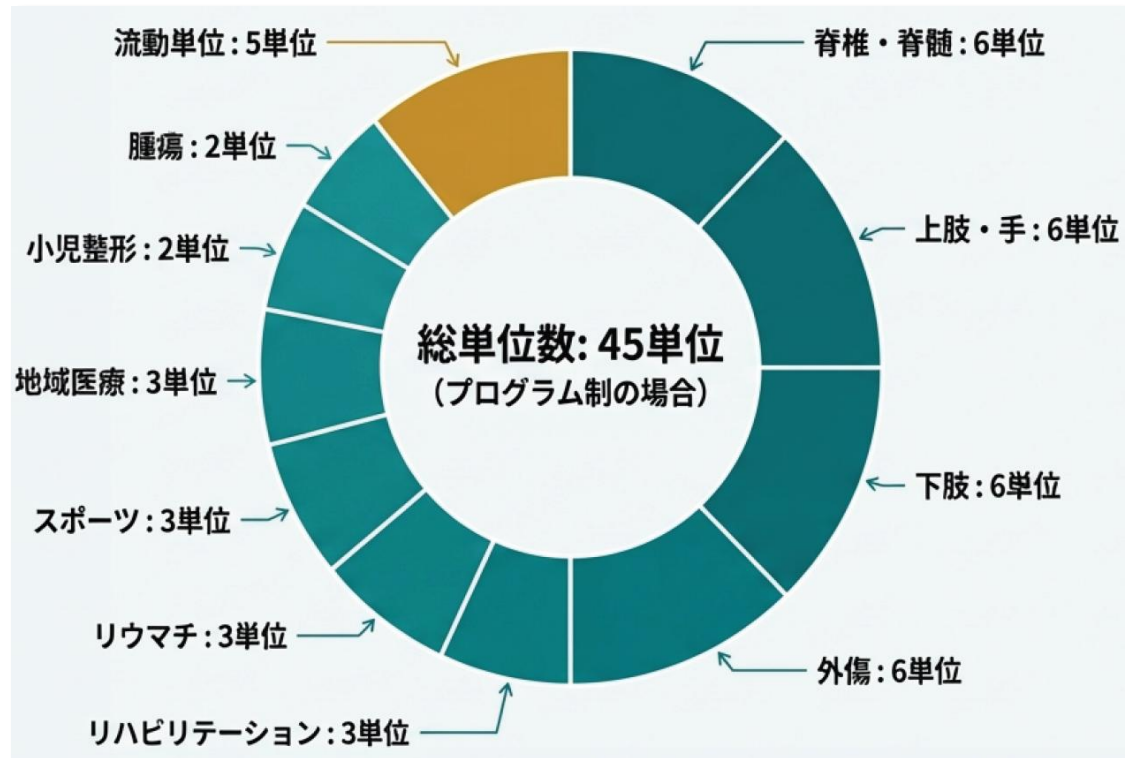
共通の研修修了要件



- 単位取得・・・日整会認定教育研修会で**30単位以上**を取得。**骨・軟部腫瘍特別研修会(3単位)受講必須。**
分野14は3単位の取得が必要ですが、枝番号は不問です。
- 学術活動・・・論文発表(筆頭著者)または学会発表が**1回以上必須。**
- 施設研修・・・**大学病院**での**6か月以上研修**。**3か月以上の地域医療研修。**
- 症例経験・・・手術症例**160例以上**。うち、**執刀医として80例以上。**

研修期間の設定（必修単位）について

1か月1単位として研修を行う。4月に研修開始後、45単位（3年9か月）修了後の4年目12月に専門医試験受験要件を満たす。



研修休止・延長について

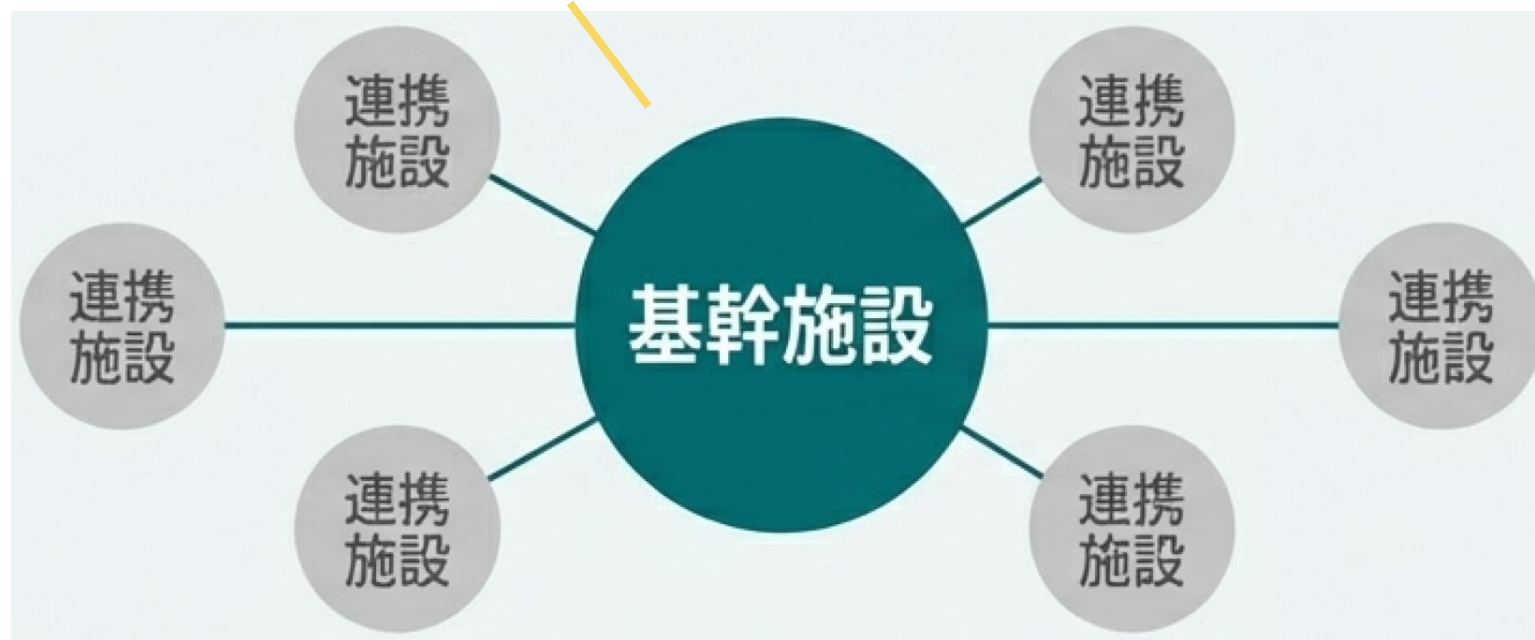
「6か月までの休止期間を設けること」は、日本専門医機構が定める全基本領域共通の条件です。整形外科領域では、以下の通り対応しています。

なお、いずれの場合もJOINTSにて統括責任者からの承認を受けている必要があります。

休止期間	研修修了時期
1～6か月	【JOINTSで行うこと】 休止登録 45単位から 休止月数分差し引いて研修修了 。
7か月以上	【JOINTSで行うこと】 延長・休止登録 6か月以上の場合、研修期間の延長必須 。 同年度に研修開始した専攻医から、研修修了が1年以上遅れる。

研修環境について

【基幹施設】プログラム全体を統括する。
Ⅰ型（大学病院本院）、Ⅱ型（地域の基幹病院など）が存在。
Ⅰ・Ⅱ型どちらの場合も専攻医は6か月以上の研修を行う。



【連携施設】基幹施設と連携し、多様な研修を行う。
専攻医は連続した3か月以上の研修を行う。

よくある質問（FAQ） 制度について

ダブルボードカリキュラム制研修が認められる科に決まりはあるか？

整形外科領域とのダブルボードが認められているのは「救急科」「リハビリテーション科」のみです。それ以外の場合、通常のプログラム制あるいはカリキュラム制で研修いただきます。

研修途中で所属プログラムを移動することは可能か？

領域学会および日本専門医機構の承認を得れば可能です。ただし、シーリングが設定されている都道府県への移動は原則として認められません。移動希望の際は日整会ホームページ「[問い合わせフォーム](#)」より、必ずご連絡ください。

他科との同時研修は可能か？

「基本診療科の並行研修はできない」というのが、新専門医制度の大原則です。

大学院での研究は、研修単位になるか？

整形外科診療に従事していれば、地域医療研修などの単位として認められます。ただし、国外留学の場合には「研修中断」として扱ってください。

よくある質問（FAQ） 研修内容について①

？ Ⅱ型専門研修プログラムにおいて、大学病院で研修を行うことは必須か？

I・Ⅱ型共通で「大学病院での6か月研修を行うこと」を原則としています。

？ 連携施設での研修は、必ず「連続した3か月」でないといけないのか？

原則として「連続した3か月」になります。連続でない場合、最終的に日本専門医機構から確認が入る場合があります。ただし、小児や骨・軟部など、指導可能施設が限られる場合は、この限りではありません（その旨を日本専門医機構へお知らせください）。

？ 研究や妊娠出産により診療に従事できない場合、どうなるか？

6か月以内（6単位分）の中断であれば、4年間で修了認定可能です。それ以上の場合、研修期間の不足が生じるため、4年間の研修修了はできなくなります。

？ 地域医療分野研修は、非常勤でも可能か？

プログラム制では地域医療分野研修に限り、非常勤での研修を認めています。

よくある質問（FAQ） 研修内容について②



骨・軟部腫瘍特別研修会への参加は必須？

受験申請までに骨・軟部腫瘍特別研修会（3単位）の受講が必須です。教育講演必須分野番号5番では代替できませんので、ご注意ください。



保存療法症例について、決まりはあるか？

本学会として、症例内容自体に取り決めはありません。所属プログラムにて条件などがある場合もございます。詳しくは、基幹施設の研修担当者へご確認ください。



専門研修の業績（学会発表・論文掲載）の具体的な要件は？

本学会として具体的な要件はございません。ただし、統括責任者の承認をもって有効な実績としてカウントされますので、ご注意ください。



手術症例について、決まりはあるか？

研修修了までに、160例以上（項目・分野を問わない。うち執刀80例以上）の登録が必要です。また、そのなかでカリキュラムコード（A・B）の要求数を満たしていただきます。

なお、2026年度研修開始専攻医より、手術症例についてはJOANR登録症例のみを有効とします。